ワイヤレスステレオヘッドセット　ATH-BT03/ATH-BT03T

取扱説明書

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全に充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることもあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

コントローラーについて

⚠警告

- **病院などの医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しない**
  電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- **本製品を航空機内で使用しない**
  電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **本製品を自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **付属の充電用 USB ケーブルおよび指定の USB 対応 AC アダプター（別売）以外は使用しない**
  事故や火災の原因になります。
- **異常に気付いたら使用しない**
  異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **水をかけない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **布などでおおわない**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**
  事故や火災の原因になります。

⚠注意

- **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
  故障、不具合の原因になります。
- **火気に近づけない**
  変形、故障の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
  変形、故障の原因になります。

リチウムポリマー電池（内蔵）について

⚠危険

- **付属の充電用 USB ケーブル以外で充電しない**
  故障や火災の原因になります。
- **分解や改造、ハンダ付けはしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **火の中に投入しない**
  破損や事故の原因になります。

⚠警告

- **外装チューブがはがれた電池は使用しない**
  故障や火災の原因になります。

■お願い

Li-ion

リチウムポリマー電池のリサイクルについて

リチウムポリマー電池はリサイクルできます。不要になったリチウムポリマー電池は、金属部にテープなどを貼り付けて絶縁してからリサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp をご覧ください。

ヘッドホンについて

⚠警告

- 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。
  交通事故の原因となります。
- 周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しないでください。
- 本製品は密閉度が高く、外部の音が聞こえにくくなります。周囲の音が聞こえる音量で、安全を確かめながらご使用ください。
- イヤピースは幼児の手の届かない場所に保管してください。

⚠注意

- 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- 肌に異常を感じた場合は、すぐにご使用を中止してください。
- 分解や改造はしないでください。
- ヘッドホンを耳から外したときは、必ずイヤピースが本体に付いているかご確認ください。
  イヤピースが耳の中に残り取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品を使用時に万一メモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負えません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるものでヘッドホンの故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
  また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 本製品をそのままバッグやポケットなどに入れるとコードが引っかかり、断線の原因になります。
- コードをポータブル機器やコントローラー部などに巻き付けないでください。
  断線の原因になります。

Bluetooth 機器について

本製品は2.4GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、およびアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止してください。そのうえで当社相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーテーションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社相談窓口までお問い合わせください。

- 本製品は日本国内でのみご使用いただけます。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。
  無線局の免許は必要ありません。
- 以下の行為は、法律で禁じられています。
  - 分解や改造を行なう
  - 本体に貼付の技術基準適合証明ラベル（ マークを含むラベル）をはがす
- 本体の表示について
  2.4FH1　この無線機が2.4GHz帯を使用し、変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以内です。
- 使用可能範囲
  本製品は送信側*Bluetooth*機器から約10mの範囲でご使用いただけますが、本製品と送信側*Bluetooth*機器の間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。
- ほかの機器との影響
  電子レンジ・デジタルコードレス電話・無線LANを使用する機器・*Bluetooth*搭載機器など、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。
- *Bluetooth*通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社としては一切の責任を負いかねます。

Bluetooth 対応バージョンとプロファイル

本製品は下記の *Bluetooth* バージョンとプロファイルに対応しています。

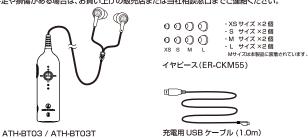
■通信方式：*Bluetooth* 標準規格 Ver.2.1＋EDR 準拠

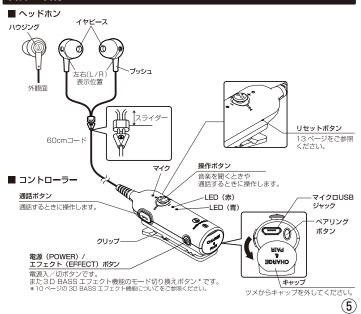
■対応 *Bluetooth* プロファイル：
- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)：ステレオ音質のオーディオデータを送受信する。
- AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)：再生、停止、スキップ、音量調整など AV 機器を操作する。
- HSP(Headset Profile)：通話 / 携帯電話の発着信する。
- HFP(Hands-Free Profile)：ハンズフリーで通話 / 携帯電話の発着信する。

内容物を確認する

本製品をご使用になる前に、下記内容物がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社相談窓口までご連絡ください。

ATH-BT03 / ATH-BT03T

イヤピース（ER-CKM55）

充電用 USB ケーブル (1.0m)

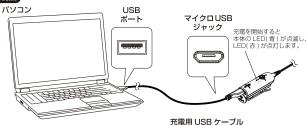
各部の名称

充電のしかた

お買い上げ時は、本製品は充電されておりません。
初めてご使用になる場合は、本体を充電する必要があります。

1. 本製品のキャップを外し、マイクロUSB ジャックに付属の充電用 USB ケーブルを接続します。
2. 充電用 USB ケーブルをパソコンの USB ポートに正しく接続します※1。
3. 充電が開始されると本体の LED(青) が点滅し、LED(赤) が点灯します。
   充電開始から約３～４時間で LED(赤) が消灯し充電完了となります。※2

※1 正しく接続されていない場合、本体の LED(赤) が点滅します。
※2 空の充電池を充電完了にするための目安の時間です。
　前回充電した分の電池容量が残っている場合には、短い時間で充電完了になります。

＊USB 対応 AC アダプター (別売) でも充電することができます。詳しくは 15 ページをご参照ください。

接続図

電池残量が少なくなった場合

警告音が鳴り、0.5 秒間隔で LED(赤) と LED(青) が同時に点滅します。
本体の電池が完全になくなると終了音が鳴り、電源が自動的に切れます。
LED の点滅が始まったら、上記の方法で充電してください。

本製品の使用可能時間 ＊

連続通信（音楽再生時間を含む）：最大約 6 時間
連続待ち受け：最大約 200 時間
＊使用条件により異なります。

● 本製品は以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくても LED(赤) が消灯することがあります。
　・動作保証温度範囲（5℃～ 45℃）から外れる場合
　・充電式電池に問題がある場合
　この場合、もう一度上記の温度範囲内で充電を行なってください。
　それでも充電されない場合は、当社のサービスセンターにご相談ください。

● 初めて充電を行なったとき、または長い期間使用しないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
● 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。充電式電池の交換については、お買い上げのお店、または当社のサービスセンターにご相談ください。
● 急激な温度変化や、直射日光、露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
● 本製品とパソコンを接続中に、パソコンが省電力モードになると正しく充電できません。接続を行なう前にパソコンの設定を確認してください。パソコンが省電力モードになっても LED（赤）は自動的に消灯します。この場合、充電をやり直してください。
● 接続の際は本製品とパソコンは、付属の USB ケーブルのみを使用し、直接接続してください。USB ハブ、USB 延長ケーブルは使用しないでください。USB ケーブルは USB ポートの奥までプラグを持ってまっすぐ差し込んでください。

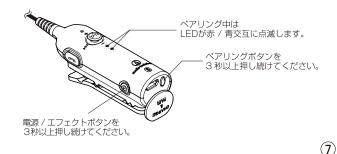
ペアリングを行なう

接続する機器をあらかじめ登録しておく手順です。
Bluetooth 機器では、接続する機器を最初に登録（ペアリング）しておく必要があります。
ペアリングの動作をビープ音で確認したい場合は、ヘッドホンを装着してペアリングを行なってください。
※装着のしかたについては９ページの「音楽を聞く」をご参照ください。
※接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

1. 相手側 *Bluetooth* 機器が、本製品の 1m 以内にあることを確認してください。
2. 本製品の電源が切れている状態で電源 / エフェクトボタンを３秒以上押し続けてください。
   LED(青) が３回点滅して電源が入ります。
3. ペアリングボタンを３秒以上押し続け、ペアリングモードにします。
   「ピーポポ」とビープ音が鳴り、ペアリングを開始します。
   ペアリング中は LED が赤 / 青交互に点滅します。
   ※ペアリングには時間がかかる場合があります。
4. 相手側 *Bluetooth* 機器でペアリング操作を行ない、本製品を検索します。
   相手側 *Bluetooth* 機器の画面に、検出した機器の一覧が表示されます。
   本製品は「ATH-BT03」と画面に表示されます。
   （ATH-BT03T をご使用の場合も、「ATH-BT03」と表示されます。）
5. 相手側 *Bluetooth* 機器の画面に表示されている「ATH-BT03」を選択します。
   ※相手側 *Bluetooth* 機器の画面でパスコードを要求されたら、「0000」と入力します。

LED(青) がゆっくりした点滅に変わったらペアリング完了です。

※複数のプロファイルを接続する場合は、４～５のペアリング手順を複数回繰り返す必要があります。
※一部機器によっては、自動で *Bluetooth* 接続を行ない、対応したプロファイルを読み込む機器があります。詳しくはご使用の携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
※5 分以内にペアリング作業を完了しなかった場合、本製品のペアリングモードは解除されて、電源が切れます。この場合、もう一度最初からペアリングを行なってください。
※リセットボタン (→12 ページ) を押してもペアリング情報は削除されません。

■ ペアリング中の各部の動作

ペアリングを行なう（つづき）

一度ペアリングを行なっても、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

・９台以上の *Bluetooth* 機器をペアリングしたとき
　（本製品は最大８台までペアリング登録できます。８台ペアリング登録したあとに、新たな機器のペアリング登録を行なうと、８台のペアリングされた機器のうち、接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。）
・修理を行なったなどで、本製品のペアリング情報が消えてしまったとき
・相手側 *Bluetooth* 機器で本製品の接続履歴情報が削除されたとき

Bluetooth 対応携帯電話の情報について

Bluetooth 対応の携帯電話の適合リストについては、当社ホームページでご案内しています。

TOP ページ＞一般製品＞製品適合リスト
http://www.audio-technica.co.jp/atj/support/

音楽を聞く

本製品は、*Bluetooth* 無線技術におけるコンテンツ保護方式のひとつ、SCMS-T 方式に対応しています。
SCMS-T 方式対応の携帯電話やワンセグテレビなどの音楽（または音声）を聞くことができます。

操作を行なう前に以下の内容をご確認ください。
●送信側 *Bluetooth* 機器の電源が入っている。
●本製品と送信側 *Bluetooth* 機器のペアリングが完了している。
●送信側 *Bluetooth* 機器が音楽送信機能に対応している（プロファイル：A2DP※）
※プロファイルについては 4 ページの「*Bluetooth* 対応バージョンとプロファイル」をご参照ください。

1. 右図のようにヘッドホンを装着してください。
   "L(左)" の表示側を左耳に、"R(右)" の表示側を右耳に、
   それぞれ装着してください。
2. 本製品の電源が切れている状態で電源 / エフェクトボタンを
   3 秒以上押し続けてください。
   起動音が鳴り、LED(青) が 3 回点滅して電源が入ります。
3. 送信側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご参照の上、*Bluetooth* 接続
   操作を行なってください。
4. 送信側 *Bluetooth* 機器の再生を始めます。
   Bluetooth 接続中は、LED（青）が点滅します。

装着図

左側には指で触って
わかるように凸形状があります。

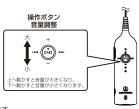
送信側 *Bluetooth* 機器を操作するには

送信側 *Bluetooth* 機器が機器操作機能 (*Bluetooth* プロファイル：AVRCP）に対応している場合は、
本製品の操作ボタンで、送信側 *Bluetooth* 機器の操作ができます *。
＊送信側 *Bluetooth* 機器によっては、操作に対応していない場合があります。

操作ボタンの 真ん中、⏯ を短押しすると、再生 / 一時停止
操作ボタンの ⏯ を長押しすると、停止
操作ボタンの ⏭ 側、短押し - 曲送り / 長押し - 早送り
操作ボタンの ⏮ 側、短押し - 曲戻し / 長押し - 早戻し

音量調整するには

操作ボタンの上下で音量を調整します。
操作ボタンを上（+）へ動かすと音量が大きくなり、
下（−）へ動かすと小さくなります。
操作ボタンは長押しでも調整できます *。
＊音量が最大 / 最小になると「ピピッ」と警告音が鳴ります。
　それ以上は大きく / 小さくなりません。

5. ご使用後、電源を切ります。
   送信側 *Bluetooth* 機器を操作して、*Bluetooth* 接続を切断します。
   ご使用後は本製品の電源 / エフェクトボタンを 3 秒以上長押しし、電源を切ります。
   終了音が鳴り、電源が切れます。

通話する

***Bluetooth* 機能搭載の携帯電話で通話を行なうには、以下の内容をご確認ください。**
●携帯電話の *Bluetooth* 機能が有効になっていること。
●本製品と *Bluetoorh* 対応携帯電話のペアリングが HSP か HFP で完了していること。

1. 本製品の電源が切れている状態で電源 / エフェクトボタンを 3 秒以上長押しし、電源を入れます。
2. *Bluetooth* 対応携帯電話の取扱説明書をご参照の上 *Bluetooth* 接続操作を行なってください。
   Bluetooth 対応携帯電話の画面のリストの中に「ATH-BT03」と表示されます。
   （ATH-BT03T をご使用の場合も､「ATH-BT03」と表示されます。）

   HFP と HSP の両方に対応した *Bluetooth* 対応携帯電話をご使用の場合は、HFP で接続してください。
   ※プロファイルについては、*Bluetooth* 対応バージョンとプロファイル（→4 ページ）を参照ください。

マイク
操作ボタン
上または下へ動かして
音量を調整します。
通話ボタン
電源/エフェクトボタン

■ 電話を受ける
着信があると、ヘッドホンから着信音が聞こえます。
通話ボタンを押して、電話を受けます。
※通話ボタンを 2 秒以上押し続けると着信拒否します。

■ 電話をかける
ご使用の携帯電話を操作して電話をかけてください。
本製品から発信音が聞こえない場合は、通話ボタンを
2 秒以上押し続けてください。

■ 電話をリダイヤルする
ご使用の携帯電話の待機中に、通話ボタンを
2 秒以上長押しし、リダイヤルします。
最後にかけた電話番号に発信します。
※ご使用の携帯電話によって異なる場合があります。
受話音量を調整するには、操作ボタンを上または
下へ動かして音量を調整します。

■ 電話を切る
本製品の通話ボタンを押して、通話を終了します。

ご使用後
送信側 *Bluetooth* 機器を操作して、*Bluetooth* 接続を切断します。
ご使用後は本製品の電源 / エフェクトボタンを 3 秒以上長押しし、電源を切ります。

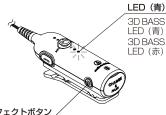
3D BASS エフェクト機能 について

電源 / エフェクトボタンで 3D BASS エフェクト機能を ON/OFF できます。
3D BASS エフェクト機能は、SRS Labs, Inc が開発した SRS WOW HD™ を採用しています。
※出荷時は 3D BASSエフェクト 機能が作動した状態にセットされています。

この技術は、オーディオの再生音質を改善し、深く豊かな低音再生、
高域の音の抜けの良さと共に迫力のある立体音場を体験していただけます。

SRS(◉)は、SRS Labs. Inc. の商標です。
WOW HD 技術は、SRS Labs Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

3D BASS エフェクト機能を作動させるには

音楽再生中に、電源 / エフェクトボタンを短く押す * と、ビープ音が「ピッ」と鳴り、
LED(青) が 1 秒点灯し機能が作動します。
※出荷時は 3D BASSエフェクト 機能が作動した状態にセットされています。
＊エフェクトボタンを 3 秒以上長押しすると、本製品の電源が切れます。

音楽再生中に短く押すと、3D BASS エフェクト機能が作動します。

電源 / エフェクトボタンをもう一度短く押すと、ビープ音が「ピッピッ」と 2 回鳴り、
LED(赤) が 1 秒点灯し 3D BASS エフェクト機能が解除されます。

※音楽ソースによっては、3D BASS エフェクトにより音が歪む場合があります。
　その場合は、3D BASS エフェクト機能を OFF にしてご使用ください。

音楽再生中の通話

音楽再生中に通話をするには、A2DP だけではなく、HFP または HSP での *Bluetooth* 接続も必要です。

1. 「通話する」（11 ページ）の手順に従って、ご使用の携帯電話を HFP または HSP で
   Bluetooth 接続してください。
   ※詳しくはご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。
2. 音楽を再生する *Bluetooth* 機器（ポータブルプレーヤーや携帯電話など）を操作して、
   A2DP で本製品と *Bluetooth* 接続します。

音楽再生中に電話をリダイヤルする

音楽再生中に通話ボタンを 2 秒以上長押しし、
リダイヤルします。
音楽が一時停止し、最後にかけた電話番号に発信します。

音楽再生中に電話を受ける

着信があると音楽が一時停止し、
本製品のヘッドホンから着信音が聞こえます。

1. 本製品の通話ボタンを押して、通話を開始します。
2. 通話が終了したら、通話ボタンを押し電話を切ります。
   本製品が音楽再生に戻ります。

着信があってもヘッドホンから着信音が聞こえないときは、以下の操作をしてください。
● 再生中の音楽を停止する。
● 着信音が鳴ったら通話ボタンを押して、通話を開始する。

お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。
お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

■ コントローラーについて
乾いた布で本体の汚れを拭いてください。

■ ヘッドホンについて
乾いた布で本体の汚れを拭いてください。
なお、音が出る部分（※右図）は繊細なため、触らないようにしてください。
故障の原因になります。

■ ヘッドホン側面図

■ コードについて
汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。
汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。

■ イヤピースについて
◆ イヤピースのサイズ／種類について
イヤピースが耳にうまく装着されていないと低音が聞こえにくいことがあります。本製品は、4 サイズのシリコンイヤピース XS、S、M、L を付属しており、お買い上げ時は M サイズが装着されています。
よりよい音質でお楽しみいただくために、イヤピースのサイズを換えて、イヤピースを耳の収まりの良い位置に調節してください。
◆ お手入れのしかた
ヘッドホンからイヤピースを外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。
洗浄後は乾いてからご使用ください。
◆ 交換のしかた
右図のように古くなったイヤピースを外し、新しいイヤピースを奥まで しっかり取り付けてください。

⚠ 注意

- イヤピースは汚れが付きやすいため、定期的に取り外しお手入れをしてください。汚れが付いたまま使用すると、イヤピースを通して本体の音が出る部分が汚れ、音質が悪くなる恐れがあります。
- イヤピースは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、嵌合がゆるくなるなどの劣化が見られた場合は、お早めに交換してください。消耗品、部品の購入につきましては、販売店または当社のサービスセンターへお問い合せください。
- 一度外したイヤピースを本体に付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。イヤピースが耳の中に残ったまま放置すると、けがや病気の原因になります。

リセット機能について

万一、本製品の操作ができなくなってしまった場合には、これを解除するためのリセットボタンが設けられています。下記手順に従って、コントローラー部右側面にあるリセットボタンで本製品をリセットしてください。

1. 本製品をリセットしてください。
2. 右図のように細い棒などをリセット穴に差し込み、リセットボタンの感触があるまで押してください。リセットボタンが押されると電源が切れます。

※この操作をしてもペアリング情報は削除されません。

故障かな？と思ったら

Q１．電源が入らない

A１. 電池残量は充分ですか？→充電してください。　A２. 充電中ですか？→充電中は電源を入れることができません。

Q2．ペアリングができない／完了しない

A１. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が離れていませんか？
→本製品と相手側 *Bluetooth* 機器を 1m以内に近づけて再度ペアリングをしてください。
A2. 相手側 *Bluetooth* 機器は適合機種ですか？ →適合を確認してください。
A3. プロファイルの設定は完了していますか？
→相手側 *Bluetooth* 対応携帯電話の取扱説明書を確認し、プロファイルの設定を完了させてください。

Q3．*Bluetooth* 接続ができない

A1. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っていますか？ →電源を入れてください。
A2. 相手側 *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* 機能は有効になっていますか？ →*Bluetooth* 機能を有効にしてください。

Q4．音楽の音が出ない

A1. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っていますか？ →電源を入れてください。
A2. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が A2DP で接続されていますか？ →A2DP 接続してください。
A3. 相手側 *Bluetooth* 機器が音楽再生されていますか？ →音楽再生してください。
A4. 本製品の音量が小さくありませんか？また接続した機器側の音量が小さくありませんか？
→音量を大きく調整してください。

Q5．音楽の音が歪む、途切れる

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の近くに 2.4GHz 帯の周波数を使用する電子レンジや無線などの機器はありませんか？ →それらの機器と離して使用してください。
A2. 3D BASS エフェクト機能が ON になっていませんか？ →音楽ソースによっては、3D BASS エフェクトにより音が歪む場合があります。その場合は、3D BASS エフェクト機能を OFF にしてください。
A3. 相手側 *Bluetooth* 機器で複数のアプリケーションが起動していませんか？ → 一部の携帯電話などにおいて本製品を使用する際、複数のアプリケーションが起動していると、音楽や音声が途切れる場合があります。
A4. 相手側 *Bluetooth* 機器と離れて使用していませんか？
→ 相手側 *Bluetooth* 機器を近づけて、電波の届く範囲で使用してください。

Q6．音楽の音質が悪い

A1. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が、HSP の *Bluetooth* 接続になっていませんか？
→*Bluetooth* 接続を A2DP に切り換えてください。

Q7．通話相手の声が聞こえない（通話時）

A1. 本製品と相手側 *Bluetooth* 対応携帯電話の電源が入っていますか？ →電源を入れてください。
A2. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が HFP もしくは HSP で接続されていますか？
→HFP もしくは HSP で *Bluetooth* 接続してください。
A3. 相手側 *Bluetooth* 携帯電話の音声設定が、通話中に本製品を使用する設定になっていますか？
→*Bluetooth* 携帯電話の音声設定で、本製品を使用できるように設定してください。
A4. 本製品の音量が小さくありませんか？ →音量を大きく調整してください。
A5. 接続した携帯電話の音量は小さくありませんか？ →音量を大きく調整してください。

Q8．通信距離が短い（通話時）

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の近くに 2.4GHz 帯の周波数を使用している電子レンジや無線などの機器はありませんか？ →それらの機器と離して使用してください。
A2. 本製品を相手側 *Bluetooth* 機器に近づけてご使用ください。

Q9．充電できない

A1. 本製品とパソコンに充電用ケーブルがしっかり接続されていますか？
→しっかり奥までまっすぐ差し込んでください。
A2. パソコンの電源が入っていますか？ →パソコンの電源を入れてください。
A3. パソコンがスリープ状態に入っていませんか？ →パソコンの電源設定をご確認ください。
A4. 別売の USB 対応 AC アダプターをご使用の場合は、正しく接続されていますか？
→接続をご確認ください。

充電のしかた（USB 対応 AC アダプターを使用する場合）

パソコンで充電する（→6 ページ）以外に、USB 対応 AC アダプター AD-SU505JEA（別売）を使用して充電することができます。

1. 本製品のマイクロUSB ジャックに付属の充電用 USB ケーブルを接続します。
2. 充電用 USB ケーブルを充電アダプターの USB ジャックに接続します※1。
3. コンセントに USB 対応 AC アダプターを接続してください。
4. 充電が開始されると本体の LED(青) が点滅し、LED(赤) が点灯します。
充電開始から約 3 ～ 4 時間で LED(赤) が消灯し充電完了となります。※2

※1 正しく接続されていない場合、本体の LED(赤) が点滅します。
※2 空の充電池を充電完了にするための目安の時間です。
前回充電した分の電池容量が残っている場合には、短い時間で充電完了になります。

接続図

電池残量が少なくなった場合

警告音が鳴り、0.5 秒間隔で LED(赤) と LED(青) が同時に点滅します。
本体の電池が完全になくなると終了音が鳴り、電源が自動的に切れます。
LED が点滅しはじめたら、充電してください。

- 本製品は以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくても LED(赤) が消灯することがあります。
  ・動作保証温度範囲（5℃～ 45℃）から外れる場合
  ・充電式電池に問題がある場合
  この場合、もう一度上記の温度範囲内で充電を行なってください。
  それでも充電されない場合は、当社のサービスセンターにご相談ください。

- 長い間使用しないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。
  何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。
  充電式電池の交換については、お買い上げ店または当社のサービスセンターにご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。
  また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。

テクニカルデータ

コントローラー部

- 通信方式　：*Bluetooth*標準規格　Ver.2.1+EDR準拠
- 出力　：*Bluetooth*標準規格　Power Class2
- 最大通信距離　：見通しの良い状態で10m以内
- 使用周波数帯域　：2.4GHz帯(2.402GHz~2.480GHz)
- 対応*Bluetooth*プロファイル　：A2DP、AVRCP、HFP、HSP
- 対応コーデック　：SBC
- 対応コンテンツ保護　：SCMS-T方式
- 電源　：DC3.7V 内蔵リチウムポリマー充電池
- マイク型式　：エレクトレットコンデンサー型
- マイク指向特性　：無指向性
- マイク感度　：-40dB(1V/pa,at1KHz)
- マイク周波数帯域　：10~4,000Hz
- 外形寸法　：W19×H64×D25mm(コード部除く)
- 質量　：約15g
- 使用温度範囲　：5℃~45℃
- 付属品　：充電ケーブル、イヤピース(XS、S、M、L)
- 別売　：交換イヤピース ER-CKM55(XS、S、M、L)
  USB対応ACアダプター AD-SU505JEA

ヘッドホン部

- 型式　：ダイナミック型
- ドライバー　：φ8.8mm
- 出力音圧レベル　：100dB/mW
- 再生周波数帯域　：20~20,000Hz
- インピーダンス　：16Ω
- コード長　：60cm(Y型*)
  ＊左右のコードの長さが同じです。
- 質量　：約6g(コード含む)

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc. の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

132309480

お問い合わせ（電話受付 / 平日9：00～17：30）
製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●相談窓口（製品の仕様･使いかた） 0120-773-417
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター（修理･部品） 0120-887-416
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ　（サポート）
www.audio-technica.co.jp/atj/support/